

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		利用児童の特性に合わせ、写真や掲示物等で視覚的に分かりやすく表示してまいります。室内は段差が少なく、おおむねバリアフリーとなっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日療育室、集団スペースの清掃や手作り教材・玩具の消毒を徹底しておこなっております。その日の利用児童の状況に応じて個別・集団の部屋の使い分けを明確にしてまいります。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		利用児童の特性や、状況に応じて個別の部屋の使用が出来るように対応しております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	7		その日勤務の職員が折衝時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月1回リフレクシオン会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるようにしております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケート調査を実施し保護者様からのご意見やご要望に関しては、全職員で周知・検討をし、できる限り迅速な対応ができるよう心がけております。集計内容を職員間で共有しながら保護者様のご意向に沿うよう取り組みをおこなっております。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月1回リフレクシオン会議を設け、業務について振り返りをし、意見を出し合っております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内では、本社配信の動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めております。また、外部研修にも積極的に参加し、参加した職員から情報共有をおこなっております。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトに公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となって利用児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携をはかり、利用児童の現状や変化を踏まえ、方向性を考慮したうえで作成をおこなっております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画作成前に支援会議を行い、対象児童について話し合い、共通理解の元、検討をおこなっております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画作成前に支援会議を行い、対象児童について話し合い、共通理解の元、検討をおこなっております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しております。	
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらひ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		保護者様のご意向や利用児童の特性を十分に考慮し、適切に選択するようしております。またさまざまな情報も加味しながら児童発達支援ガイドラインをふまえ、より具体的な支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		児童発達支援管理責任者や支援担当者の全員がチームとなってプログラムを立案しております。立案の際には役割分担を明確にしてチームで協力しながらおこなっております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		常に楽しく活動できるよう工夫しております。全体的には季節に合わせた活動を企画したり、利用児童が意欲的に取り組めるよう、利用児童の意向を把握しながら工夫や検討をおこなっております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた利用児童の特性に応じた支援計画を作成しております。また、支援計画作成で重要視しているのは、その利用児童に必要な活動内容であるのかを十分に勘案することだと考えております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日の職員間での打ち合わせにて、その日の役割分担や環境設定をおこなっております。参加できない職員には議事録を作成し、閲覧してもらうことで、情報共有の徹底につとめております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後には全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、支援内容の振り返りをおこない、情報共有をしております。その中で、気づいたことや、意見を打ち合い、成果に繋がりそうなことや、支援に工夫が必要なことを見つけて、次の支援に取り入れるようにしております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日支援経過記録を取り、毎週末にこどもと保護者様をおこなっております。記録の取り方に関しては、全職員が同じレベルで検証・改善項目に入れた記録がとれるようにつとめております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングによって児童の状況や課題などを確認し、保護者様のご意向をふまえた児童発達支援計画の作成と見直しをおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7		児童の課題を整理し、ガイドラインの総則の基本活動から必要な項目を選択し具体的な支援計画を作成し支援をおこなっております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	7		余暇時間では自分の好きな活動を選び過ごす時間を確保しています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議し、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて各種関係機関と連携に努め、情報共有をおこなっております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校との情報共有を密に図り事業所では朝礼などにて職員間の情報共有を実施しております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		小学校などへの進学時には、保護者様のご意向を確認したうえで進学先との情報共有につとめてまいります。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		個々の児童の進路については、保護者様と相談をおこない、必要に応じて保護者様の同意を得たうえで、円滑に情報提供や引き継ぎをおこなっております。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		現在、児童発達支援センターや専門機関との連携にははたっておりません。	今後は関係機関との連携を目指し、研修や助言を求めてまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		現時点では交流機会はありません。	保護者様のご意向も伺った上で、交流機会を検討し当該施設の理解を深めていただくようにつとめてまいります。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7		中津市障害者自立支援協議会・こども部委員に入り、定期的におこなわれている部会に必ず参加させていただいております。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡帳にて、その日の療育内容や利用児童の様子を伝えて情報共有につとめております。連絡帳には保護者様より療育に繋がっているよう、ご家庭での困りごと等を書いていただいております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		保護者様に分かりやすいように丁寧な説明をおこなっております。それ以降もご要望がある場合には、その都度対応しております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		児童発達支援管理責任者が保護者様に面談をおこない、意向を確かめる機会を設けております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しております。保護者様へは支援計画の内容を示す中でわかりやすい言葉を使って計画の同意を得ております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳や送迎時に保護者様から子育てのお悩み等を聞き、保護者様のお気持ちに寄り添えるよう、その都度適切なアドバイスをさせていただきます。その都度適切なアドバイスをおこなっております。また、保護者様のお悩みやお困り等は全職員で共有し、誰もが適切に答えられるようにしております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		現時点では企画は実施しておりません。	COMPASSが子育ての情報交換の場としても大いに利用して頂ける事業所でありたいと考え、保護者様のご意見をうかがいながら交流の機会を検討してまいります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することや、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明をおこなっております。また児童発達支援管理責任者や管理者が対応するだけでなく、送迎時や来所時に保護者様や利用児童から相談を受けた際には、しっかりと相談内容を受け、職員全員で共有し、迅速に対応できる体制を整備しております。	
	42 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		公式Webサイトでの情報発信しており、保護者様にもお知らせしております。また「子どもカレンダー」を毎月、「COMPASS便り」を季刊発行してお配りしております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に合わせた絵カードや写真等、情報伝達ツールを作り、分かりやすく情報が伝達できるようにしております。保護者様とはご相談やお話をしやすく関係性を築いていけるよう日頃から関係構築に工夫をし、お互いの情報がスムーズに交換し合えるようにしております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	7		現時点では事業所行事に地域の方々をご招待する企画は実施しておりません。	目標として、地域に開かれた事業運営を目指していますので、保護者様のご意向をうかがいながら地域への働きかけを検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを策定すると共に、事業所内に掲示して保護者様にご案内した上で、定期的な訓練も実施しております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		さまざまな災害に備え、どのよう状況でも対応できるような計画を立て、その中での職員の役割分担を決め、最低年4回避難訓練を実施しております。また高潮・浸水の避難訓練を実施後、中津市に訓練状況を提出しております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	7		標準化されたアセスメントツールを使用して、状況の把握に努めております。また、連絡帳などを通して状況の変化も確認させていただいております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		指示書がある利用児童については保護者様と情報共有をおこない、初期アセスメントの聞き取りの徹底、医師の指示に基づいた対応を全職員が周知のうえ、適切な対応につとめております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		年間計画を立て、事業所の点検や避難訓練をおこなっております。また、PDCAサイクルの観点から定期的に安全計画の見直しや必要に応じて変更もおこなっております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		災害時の避難所や児童の受け渡し場所、連絡先などお知らせしております。また、避難訓練の様子などはおたよりにてお知らせしております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットはほんの少しの油断から起こりえる事象なので、少しでも「ヒヤリ」とした場合には報告書を作成するようにしております。特に重要な原因究明と再発防止なので必ず職員間で話し合いをおこない、共通理解をはかり事前の事故防止につとめております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		社内に虐待防止委員会を設置し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。	
	54 どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うから、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載していますが、やむを得ず必要となる場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようしております。	